

# B が有効になるロガーで失敗された場合送信 HA オプションを解決して下さい

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題： Side B ロガーの HA を有効に することができません](#)

[解決策](#)

[ステップ 1. SQL サーバおよびチェック SQL ログへの接続応答。](#)

[ステップ 2 データベースサーバ名前をチェックして下さい。](#)

[ステップ 3.正しいデータベースサーバ名前。](#)

[ステップ 4.すべてのデータベースサーバ名前をリストして下さい。](#)

[ステップ 5.ローカル サーバを廃棄して下さい。](#)

[ステップ 6.正しいサーバ名を追加して下さい。](#)

[確認](#)

## 概要

送信ダイヤラ高い Availabilitiy ( HA ) が有効になるときこの資料に問題を解決する方法を記述されています。

Cisco Unified コンタクトセンター Enterprise ( UCCE ) からバージョン 11.6 はキャンペーン Managers および両方の自動記録器のアウトバウンド オプション インポートがアクティブ/スタンバイな モードで動作するようにするアウトバウンド オプション高可用性の機能をサポートします。

## 前提条件

### 要件

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

### 使用するコンポーネント

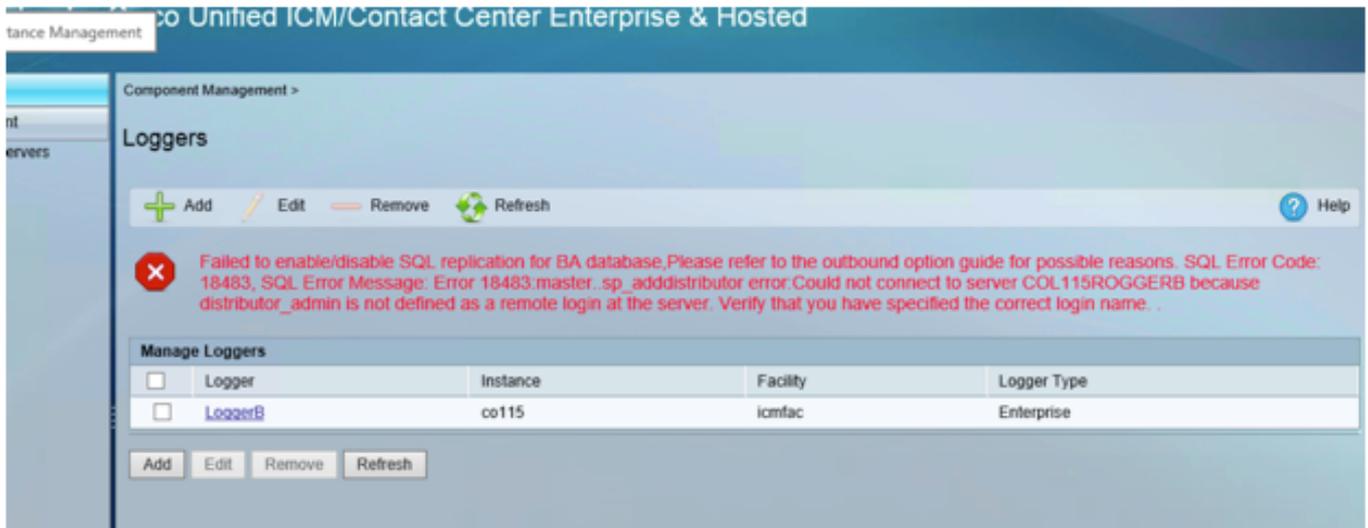
この資料に記載されている情報は UCCE 11.6 に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。対象のネットワークが稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

## 問題： Side B ロガーの HA を有効に することができません

Side B 自動記録器を設定するとき、SQL のためのユーザ名および password を入力し、イメージ (自動記録器 A 側面 No エラー) に示すようにエラーを、受け取ります:

「BA データベースのための SQL 複製を有効または無効にされない考えられる原因として参照して下さい送信オプションガイドを。SQL エラー Code:18483、SQL エラー メッセージ: エラー 18483:master。sp\_adddistributor エラー。 distributor\_admin がサーバのリモート ログインと定義されないのでサーバ COL115ROGGERB に接続できませんでした。正しいログイン名を」。規定したことを確認して下さい



## 解決策

### ステップ 1. SQL サーバおよびチェック SQL ログへの接続応答。

SQL サーバ ログ

日付 10/27/2017 9:41:50 AM

ログ SQL サーバ ( アーカイブ #1 - 10/27/2017 3:23:00 PM )

出典ログオン

メッセージ :

distributor\_admin」がサーバのリモート ログインと定義されない「ので「サーバ 'COL115ROGGERB に接続できませんでした。正しいログイン名を規定したことを確認して下さい。 [CLIENT: <local machine>]」。

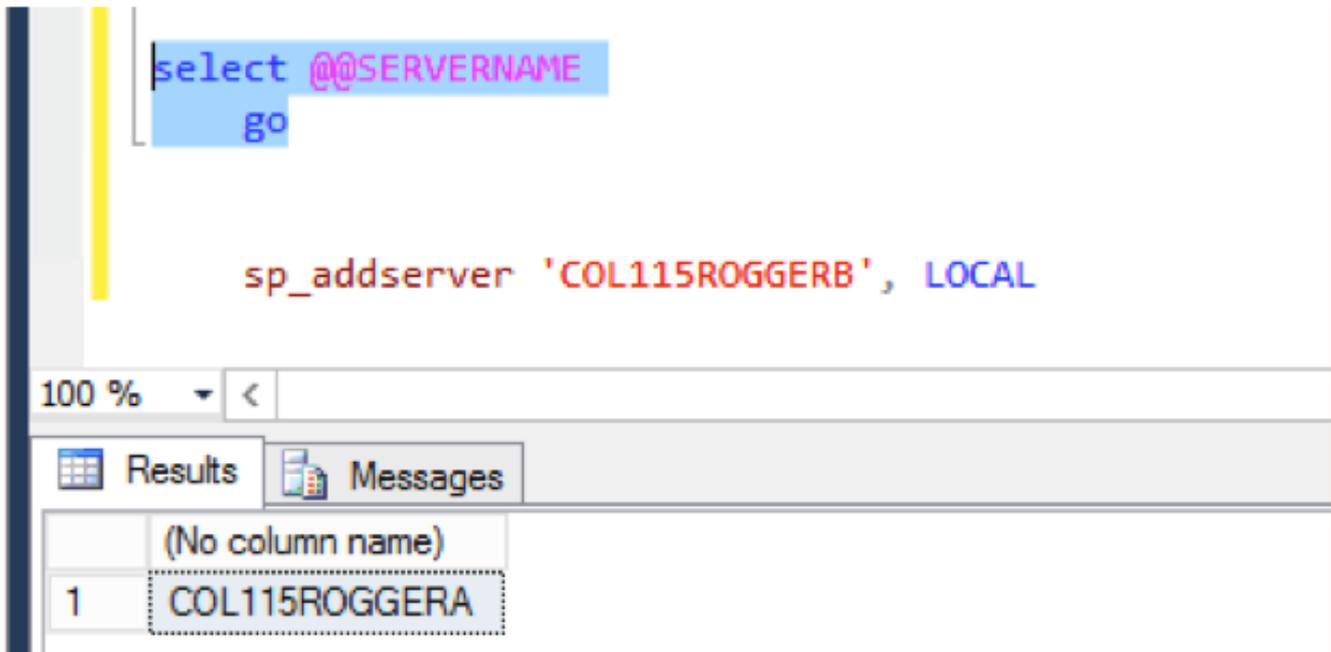
**呼び出します。 データベースサーバ名前をチェックして下さい。**

マスター db を選択して下さい。

**@SERVERNAME を選択して下さい**

このクエリはコンピュータ名と一致する必要があるデータベースサーバ名前を戻します。

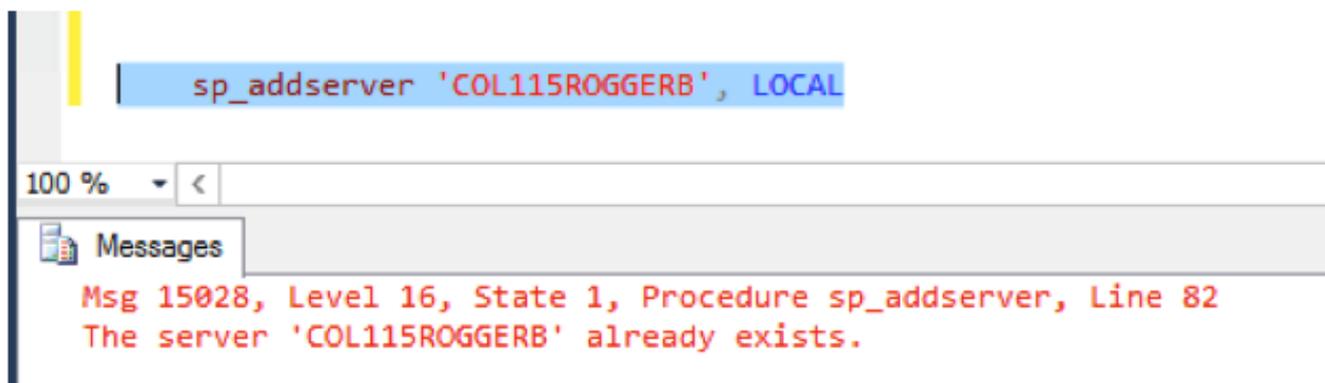
ただしイメージに示すようにクエリを、実行するとき、この場合、それは COL115ROGGERA としてデータベースサーバ名前を表記しますが、コンピュータ名は COL115ROGGERB です。



### ステップ 3.正しいデータベースサーバ名前。

`Sp_addserver 'COL115ROGGERB', LOCAL`

イメージで示されているように、このエラーメッセージを「既に」存在するサーバ受け取ります。



### ステップ 4.すべてのデータベースサーバ名前をリストして下さい。

`sp_helpserver`

ローカルサーバである id=0 に注意して下さい。

イメージに示すように、id=0 名前は間違った名前の COL115ROGGERA です。

	name	network_name	status	id	collation_name	connect_timeout
1	COL115ROGGERA	COL115ROGGERA	rpc,ipc out,use remote collation	0	NULL	0
2	repl_distributor	COL115ROGGERB	rpc,ipc out,system,use remote collation	1	NULL	0

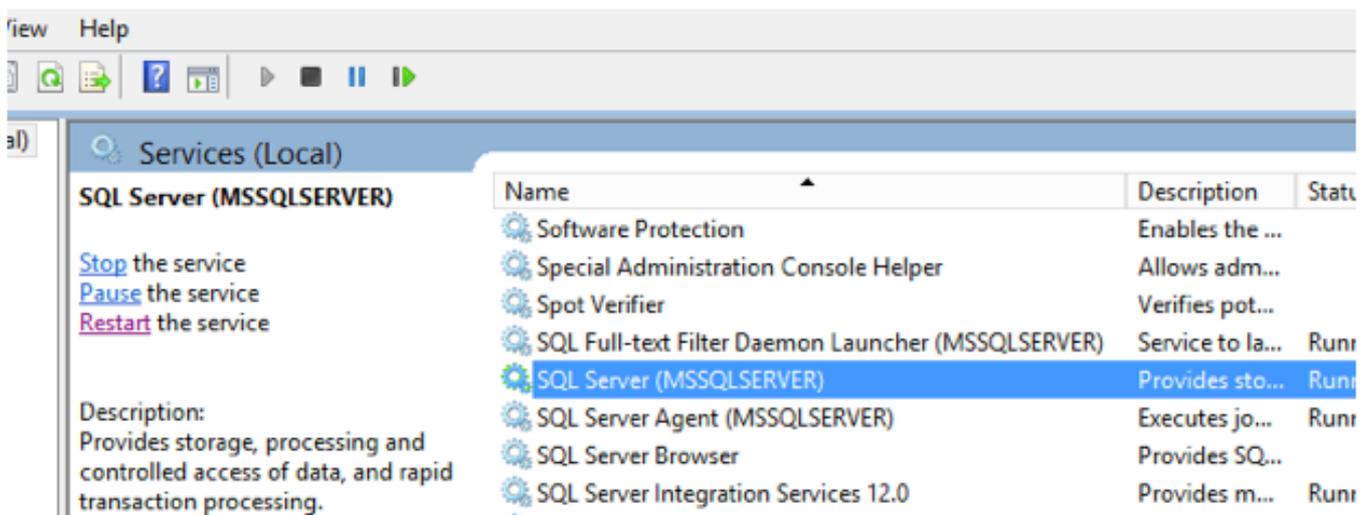
ステップ 5.ローカル サーバーを廃棄して下さい。

```
sp_dropserver 'COL115ROGGERA'
```

ステップ 6.正しいサーバ名を追加して下さい。

```
sp_addserver 'COL115ROGGERB', LOCAL
```

先行するデータベースサーバ名前が変更されるとき、イメージで示されている有効な変更を見るために SQL サービスを再開する必要があります。

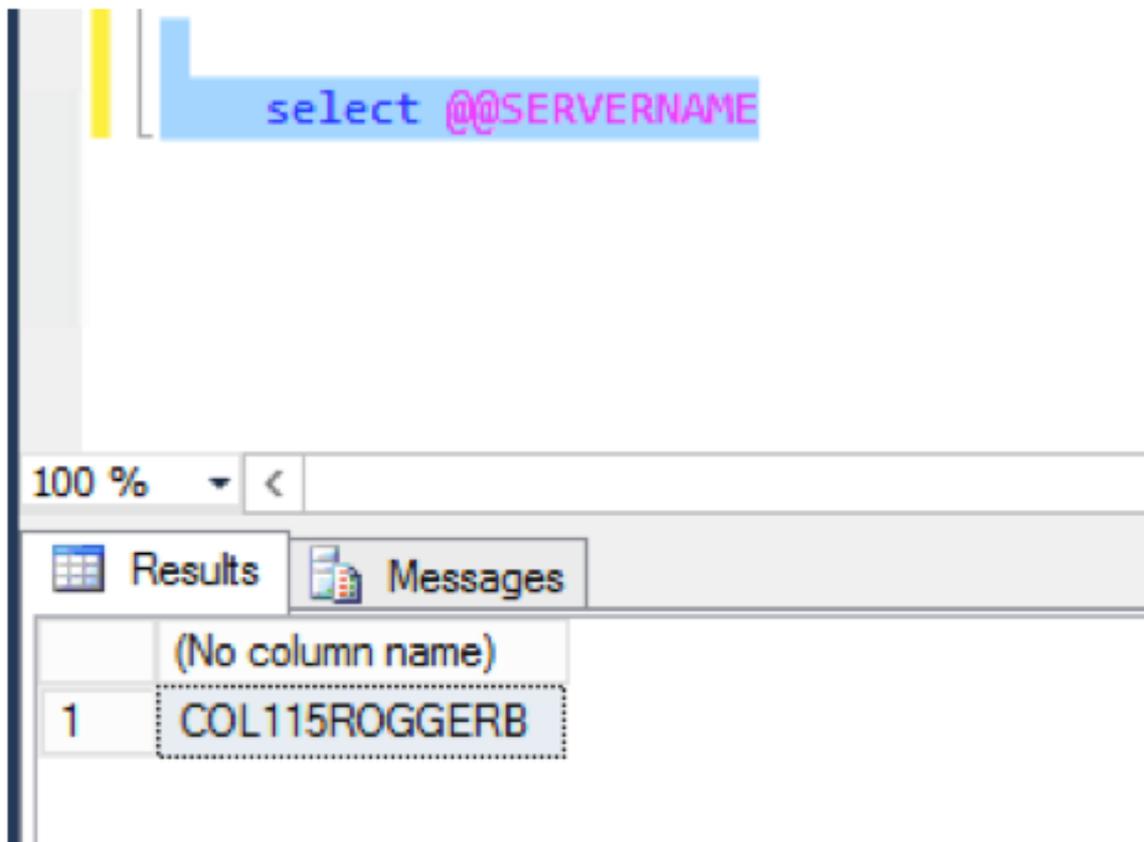


## 確認

次のコマンドを実行します： @@SERVERNAME を選択して下さい

イメージに示すように、それは正しいサーバ名を戻します。

```
select @@SERVERNAME
```



データベースサーバ名前を訂正した後、再度設定される Web を実行し、正常に Side B HA を有効にしてください。